

[第六回日本語文化研究会発表要旨]

## 縦断的の第二言語習得の研究：初級日本語学習者による助詞の習得

井内麻矢子

(1993.6.19誌)

### 1. 研究の目的

本研究は初級日本語学習者4名を対象とし、主に助詞習得の観点からの第二言語習得過程観察を目的とした縦断的中間言語研究である。1992年8月の学習開始時から1993年6月現在に至るまでの助詞の習得を調査し、今回は特に「は」と「が」を取りあげ、現時点における習得状況について発表した。

### 2. 対象学習者

・各学習者の背景は以下の通りである。

	出身	性別	年齢	職業	母語
学習者A	ニュージーランド	女性	22	埼玉県のAET	英語
学習者B	ニュージーランド	男性	22	埼玉県のAET	英語
学習者C	アメリカ	女性	23	埼玉県のAET	英語
学習者D	デンマーク	男性	24	東京の国立大学研究員	デンマーク語

\*四名とも1992年度の言語文化夏期実習に参加している。

\*年齢は学習開始時

\*AET=Assistant English Teacher

### 3. 分析

#### 1) 資料

助詞テスト：穴埋式筆記テスト（学習開始後第7週～第40週に行われた物12回分）

日記：教室の内外で書かれた作文。（同第10週～第37週に書かれた物）

#### 2) 分析方法

テストからは「は」・「が」が正答とされる箇所を、日記からは「は」・「が」が使用された箇所を取り出し、それぞれ正誤判断を行い各学習者ごとの誤用率を算出した（助詞テストに関しては資料添付）。習得の推移を見る為、資料の中間に当たる第

19週（助詞テスト）と第20週（日記）を境に前期と後期とに分けている。

\*誤用率の算出方法は次の通りである。

$$\frac{\text{誤用数}}{\text{総項目数}} \times 100 \quad (\%)$$

#### 4. 分析結果

##### 1) 助詞テスト

助詞テストにおいて見られる主な傾向は以下の通りであった。

1. 「は」も「が」も後期の方が誤用率が高い。
2. 「が」は「は」より誤選択される助詞の種類が少ない。
3. 後期になると「は」「が」間での誤用が増える。

3.に関する考察：第26週のテスト以降「は」「が」間での誤用が増えたのは、第25週に導入された学習項目「連体修飾節中の『が』」の影響が考えられる。

##### 2) 日記

日記において見られる主な傾向は以下の通りであった。

1. 前期における「が」の使用は全学習者に共通して少ない。
2. 助詞テストにおける結果3.に関しては共通の傾向を見せている。

#### 5. 今後の課題

助詞テストと日記の分析を続けると共に発話資料の分析も加え、更に多角的な角度から助詞の習得研究を進めて行きたいと考えている。

#### 〈参考文献〉

- 久保田美子(1993)「第二言語としての日本語の縦断的習得研究  
—初級学習者を対象として」お茶の水女子大学修士論文
- 柴谷方良 (1990)「助詞の意味と機能について—「は」と「が」を中心に」  
『文法と意味の間』くろしお出版
- 長友和彦 (1991)「談話における「が」「は」とその習得について  
—Systematic Variation Model—」  
『日本語シンポジウム：言語理論と日本語教育の相互活性化』  
予稿集 津田日本語教育センター

(お茶大日本語文化専攻修士2年)

〈資料〉

\* 脱落には無回答を含む。

\* 「その他」は助詞以外の言葉や読点である。

\* 誤用傾向や正用率の推移を見るため、前期（第19週まで）、後期（第40週まで）の2期に分けた。

◆助詞テストにおける「は」の習得状況

A	計	正用	誤用	脱落及び誤選択										
				隣	を	に	が	の	と	で	へ	から	その他	
前期	37	28 (75.7)	9 (24.3)	1 (2.7)	0	3 (8.1)	0	2 (5.4)	0	2 (5.4)	0	0	0	1 (2.7)
後期	39	23 (59.0)	16 (41.0)	2 (5.1)	2 (5.1)	1 (2.6)	4 (10.3)	1 (2.6)	0	1 (2.6)	3 (7.7)	1 (2.6)	1 (2.6)	1 (2.6)

(%)

B	計	正用	誤用	脱落及び誤選択										
				隣	を	に	が	の	と	で	も	その他		
前期	41	38 (92.7)	3 (7.3)	0	0	2 (4.9)	0	0	0	0	0	1 (2.4)	0	0
後期	38	20 (52.6)	18 (47.4)	0	1 (2.6)	1 (2.6)	11 (28.9)	2 (5.3)	2 (5.3)	1 (2.6)	0	0	0	0

C	計	正用	誤用	脱落及び誤選択										
				隣	を	に	が	の	と	で	も	その他		
前期	41	37 (90.2)	4 (9.8)	1 (2.4)	0	2 (4.9)	0	0	0	0	0	1 (2.4)	0	0
後期	38	23 (60.5)	15 (39.5)	6 (15.8)	0	1 (2.6)	3 (7.9)	4 (10.5)	1 (2.6)	0	0	0	0	0

D	計	正用	誤用	脱落及び誤選択										
				隣	を	に	が	の	と	で	も	その他		
前期	38	37 (97.4)	1 (2.6)	1 (2.6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後期	37	28 (75.7)	9 (24.3)	6 (16.2)	0	1 (2.7)	0	1 (2.7)	0	0	0	1 (2.7)	0	0

◆助詞テストにおける「が」の習得状況

A	計	正用	誤用	脱落及び誤選択				
				隣	は	を	に	その他
前期	12	9 (75.0)	3 (25.0)	0	0	0	3 (25.0)	0
後期	19	13 (68.4)	6 (31.6)	1 (5.3)	3 (15.8)	2 (10.5)	0	0

B	計	正用	誤用	脱落及び誤選択				
				隣	は	を	に	その他
前期	12	11 (91.7)	1 (8.3)	0	1 (8.3)	0	0	0
後期	19	13 (68.4)	6 (31.6)	2 (10.5)	3 (15.8)	0	1 (5.3)	0

C	計	正用	誤用	脱落及び誤選択					
				隣	は	を	に	か	その他
前期	12	10 (83.3)	2 (16.7)	1 (8.3)	0	1 (8.3)	0	0	0
後期	19	10 (52.6)	9 (47.4)	0	2 (10.5)	5 (26.3)	1 (5.3)	1 (5.3)	0

D	計	正用	誤用	脱落及び誤選択				
				隣	は	を	に	その他
前期	11	8 (72.7)	3 (27.3)	1 (9.1)	2 (18.2)	0	0	0
後期	17	12 (70.6)	5 (29.4)	4 (23.5)	0	1 (5.9)	0	0